

第2回多職種連携研修部会報告書

H30. 11. 26

日時	平成30年11月26日(月)19時～20時	
場所	高松市医師会館 2階小会議室	
出席者	■ 吉澤委員長 ■ 大原部会長 ■ 林 委員 ■ 大橋委員 ■ 長内委員 □ 井下委員 ■ 永岡委員 ■ 中村委員 ■ 古川委員	8人
事務局	高松市医師会事務局 中西主査、真鍋氏 高松市地域包括支援センター 香西センター長 高松市地域包括ケア推進室 徳重室長、香川室長補佐、長樂	6人
議題	1 平成30年度 多職種連携研修会の開催について 2 開催要領及びタイムスケジュール	
結果	1 平成30年度 多職種連携研修会の開催について (1) 目的 参加者が、医療職、介護職等それぞれの専門性を理解し、「顔の見える関係づくりを促進することで、多職種間のネットワーク構築を図る。 (2) 講師について:東京都認知症疾患センター オレンジほっとクリニック 平原先生 (3) 実施日時:平成31年2月11日(月祝)13時00分～16時30分 (4) 場所:ホテルパールガーデン (5) 人数:今後検討 2 開催要領及びタイムスケジュール (1) 流れについて ① 全体の流れ 開会のあいさつ後、13時05分くらいから16時くらいまでを平原先生の時間とする。この後、平原先生が飛行機で東京へ帰られるので、時間は13時から16時とする。 通常は、講演とグループワークで2時間くらいのコースで行っており、40分くらいの講演後、グループワークをして、最後に15分から20分くらいのまとめのレクチャーというパターンが多いということで、特別講演の時間はここでは40分としている。 今回は認知症をテーマとして、「認知症の人に寄り添う在宅医療～認知症者の生活を地域で支える多職種連携～」とする。 名刺交換について、去年は休憩時間に行ったが、離席する人が多く不評だったので、最後にまとめるなど工夫する。 ② 出演者 あいさつについては、伊藤先生か吉澤委員長のどちらか一人が行う。 ③ 内容 警察や地域包括支援センターにお願いして、高松市の状況を報告してもらおう。 包括の事例については、認知症といっても幅広いので、題材、内容を絞ってもらいたいとの要望あり。 警察にお願いする内容 ・年間に何件くらい通報があるのか？ ・どんな事例があるか？ ・運転免許証の更新時にはどんな対応を行っているか？ ・徘徊ネットワーク検索の依頼や方法	

④ 事例

平原先生の事例1例と、高松市の状況を取り入れた事例1例の2例としたい。

包括から出してもらった事例を部会で検討して平原先生に相談する。

グループディスカッションの時の事例発表については、包括から事例が出るのであれば、包括から事例紹介するのも良い。

事例発表についても平原先生と相談して、流れを確認して決定する。

平原先生には、こちらから2事例をあげて、1事例を選択してもらえるようにしたいと考えている。

(3) レイアウトについて

1グループ6名で医師の参加を30名程度にして、1グループに1名は入ってもらいたい。

ワンテーブルに医師を一人は配置したいので、8人くらいのテーブルとなるか。

ファシリテーターは、ダブっていても構わないので、多職種の人がテーブル揃っている方が意見をまとめやすい。

(4) 参加者について

各グループに医師、訪看、薬剤師、PT・OT、ケアマネなど各職種がいると、活発な意見交換ができる。

多職種がワンテーブルに入ると、視点の異なるアプローチが分かって面白い。

訪問看護と看護協会で5人となっているのは認定看護師も含めて、10人くらいに増やしてもらいたい。

地域性より、職種でグループ分けを行う。

全体で150人程度とし、グループ分けについても、平原先生に確認する。

(5) 案内時期について

募集について、職種を分けるため、2次募集のような形をとってはどうか？

テーマと演題、講師の紹介があれば、案内文を作成できる。

案内と締切日を予定より、1週間程度前倒しし、締切り後に参加状況をみて、調整できるようにしてはどうか？

(6) 吊看板及び立看板について

吊看板及び立て看板への記載は、演題と平原先生の名前のみで良い。座長は必要ない。

(7) 当日アンケートについて

問7の、何が必要かより、現場で困っていることや、どこに相談していますか？を聞いてみてはどうか？

(8) その他 今後のスケジュールについて

プログラム案を送り、早目にテーマを決めてもらう。

次回の部会は、1月の末、連携推進会議の後に開催する。